CHALLENGE & CREATE

KURODA

BUSINESS REPORT 2020

第76期中間株主通信

2019年4月1日 >>> 2019年9月30日

黒田精工株式会社

証券コード：7726

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第76期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 黒田浩史

当中間期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、米中貿易摩擦の長期化や世界的なIT関連需要の落ち込みなどによる海外経済の減速に伴い輸出が低迷したほか、企業収益の悪化から設備投資が減少するなど力強さを欠く状況が継続いたしました。

こうした状況下、当社グループにおいても昨年の下期以降の景気減速の影響を受け受注高は、6,683百万円（前年同期比3,838百万円、36.5％減）となり、売上高も7,743百万円（前年同期比1,169百万円、13.1％減）と減収結果となりました。

利益面に関しては、売上原価及び販売管理費の抑制に努めたものの売上高の減少による影響を補うには至らず、営業利益は311百万円（前年同期比440百万円、58.6％減）、経常利益は253百万円（前年同期比462百万円、64.6％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益116百万円（前年同期比352百万円、75.2％減）と減収減益結果となりました。

通期の見通し

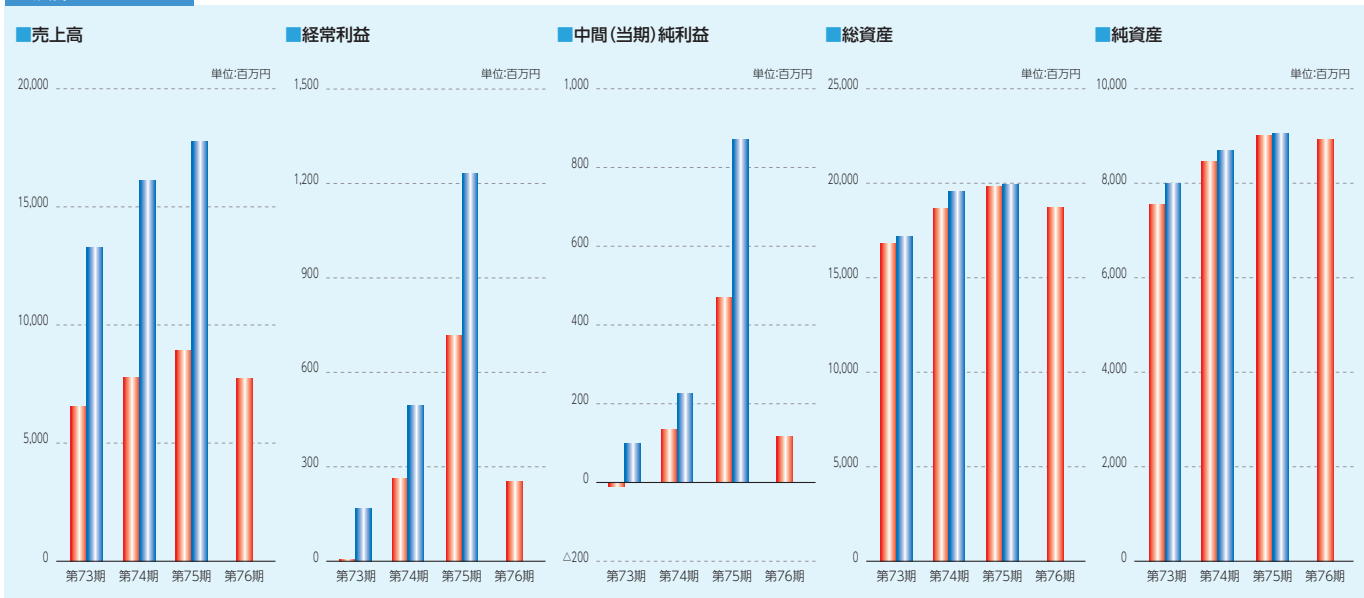
当社グループの通期の連結業績は、売上高16,900百万円、営業利益550百万円、経常利益500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円と予想しております。

期末配当予想につきましては、現時点での業績見込みから総合的に判断し、1株当たり15円とさせていただいております。

今後は、顧客との緊密な連携により市況回復に速やかに対応して受注拡大を図るとともに、新規受注案件を着実に売上につなげ、一層の収益改善努力を重ねる所存です。株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。

決算ハイライト

連 結：中間期 通 期



セグメント情報／トピックス

駆動システム

当セグメントでは、昨年下期以降、半導体業界等からの発注調整が継続しており、受注高は2,553百万円（前年同期比2,880百万円、53.0％減）と大幅な減少となりました。売上高は受注残の消化により落ち込みを最小限に留めたものの3,645百万円（前年同期比588百万円、13.9％減）となり、営業利益は255百万円（前年同期比239百万円、48.4％減）と減収減益結果となりました。

売上高 3,645 百万円

金型システム

当セグメントでは、車載用モーター関連の増産計画や複数の新規プロジェクトの獲得に成功したものの、それらが業績に寄与するのはまだ先のことになります。その一方で景気低迷の影響を受けて産業用モーター向け金型および家電向けモーターコアの受注・売上が減少したこと、大型金型の売上計上時期がずれ込んだこと、新規プロジェクト向けプロセス開発の先行投資の負担が発生したこと等により、受注高は1,931百万円（前年同期比547百万円、22.1％減）、売上高は1,734百万円（前年同期比629百万円、26.6％減）、利益面でも営業損失113百万円（前年同期は営業利益152百万円）と損失計上の結果となりました。

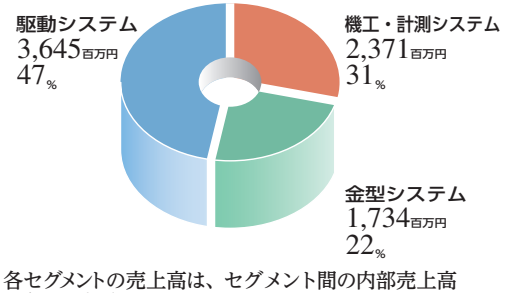
売上高 1,734 百万円

機工・計測システム

当セグメントでは、自動車分野や半導体業界における投資抑制等の影響を受け、受注高は要素機器、システム部門ともに低迷し2,207百万円（前年同期比441百万円、16.7％減）となりました。一方売上高は超精密表面形状測定装置「ナノメトロ®」が売上に寄与したことに加え、㈱ゲージングの売上が好調に推移したこと等により、2,371百万円（前年同期比15百万円、0.7％増）となりました。これに加えて収益改善活動の成果による売上原価低減及び販売管理費の圧縮等が寄与して、営業利益183百万円（前年同期比69百万円、60.2％増）と増収増益結果となりました。

売上高 2,371 百万円

セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

かずさアカデミア工場新棟竣工

前回の株主通信で着工についてお伝えしていたかずさアカデミア工場の新棟が、予定通り7月末に竣工しました。展示コーナーを兼ねたロビーや会議室も整備され、世界中から訪ねて来られるお客様との打ち合わせが円滑に出来るようになりました。また、食堂も開放的な空間に生まれ変わり、従業員の働く環境も大きく改善されました。

今回の増設に伴い新たに生み出されたスペースを活用して、新ラインを立ち上げる作業が進んでいます。この新ラインは、自動化や新工法を取り入れ、今までよりも大幅に生産性の高い革新的なラインとすることを計画しています。今回の生産体制の整備により、次の市場拡大の波にしっかりと乗ることが出来るよう準備を進めています。

かずさアカデミア工場新棟

旭工場生産体制整備

かずさアカデミア工場に続いて、旭工場においても体制整備が進みました。クロダニューマティクス（元関連会社）が空気圧機器事業のために使っていた建屋に、転造ボールねじとアクチュエーターの組立エリアと事務所を移転して生産エリアを大幅に拡張し、今後の市場拡大に向けた体制が整いました。同時にクロダインターナショナル（連結子会社）の事務所と工場を従来のボールねじ・アクチュエーター組立棟に移設し、業務効率の向上と職場環境の改善を実現しました。

移転拡張後の転造ボールねじ・アクチュエーター組立工場

台風被害

9月上旬に千葉県を襲った台風では、当社にも被害が発生しました。幸いにして人的被害は皆無であったものの、かずさ工場や富津工場が停電や雨漏りで数日間の操業停止を余儀なくされ、建屋の一部が破損しました。他にも、自宅や親族が被災された社員の方々や、協力会社が少なからずいらっしゃいます。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。また、被害のニュースを聞いた取引先各方面から心温まるお見舞いを多数頂きました。皆様のご厚意に感謝いたします。今後天災が激甚化することを想定し、今回の教訓を参考に当社の事業継続計画（BCP）を見直して、不測の事態への備えを一層強化する所存です。

管理・営業部門における改善活動の展開

生産性向上による「働き方改革」を促進するため、本年度から管理部門と営業部門に改善活動を拡大して実施することとしました。その一環として、改善手法の研修会を9月に開催しました。工場においては以前から改善発表会を実施し、改善手法について勉強する機会も多かったのですが、管理・営業部門においてはそのような機会がありませんでした。今回それぞれの改善チームから代表を選出し、外部講師を招いて集合研修を行いました。

選出されたメンバーを「カイゼン・フロントランナー」と呼ぶことにしました。改善活動の先導者になってもらいたいという思いを籠めた命名です。このフロントランナーが改善手法を身に着け、チームの中で手法を横展開し、それを使って改善プロジェクトを実際にリードし、成果まで導いてもらうことを期待しています。

改善集合研修の様子

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在
（資産の部）		
流動資産	**10,118**	**8,763**
固定資産	**9,791**	**9,926**
有形固定資産	6,228	6,591
無形固定資産	1,146	1,014
投資その他の資産	2,416	2,320
資産合計	**19,909**	**18,690**
（負債の部）		
流動負債	**6,687**	**5,947**
固定負債	**4,178**	**3,812**
負債合計	**10,865**	**9,760**
（純資産の部）		
株主資本	**7,114**	**7,107**
資本金	1,883	1,892
資本剰余金	1,485	1,494
利益剰余金	3,754	3,729
自己株式	△9	△9
その他の包括利益累計額	**1,768**	**1,653**
その他有価証券評価差額金	632	609
土地再評価差額金	814	814
為替換算調整勘定	317	219
退職給付に係る調整累計額	4	9
非支配株主持分	**160**	**168**
純資産合計	**9,043**	**8,929**
負債・純資産合計	**19,909**	**18,690**

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前第2四半期累計期間 2018年4月1日～2018年9月30日	当第2四半期累計期間 2019年4月1日～2019年9月30日
売上高	8,912	7,743
売上原価	6,275	5,651
売上総利益	2,637	2,091
販売費及び一般管理費	1,885	1,780
営業利益	**751**	**311**
営業外収益	98	92
営業外費用	133	149
経常利益	**716**	**253**
特別利益	－	2
特別損失	24	63
税金等調整前四半期純利益	**691**	**192**
法人税、住民税及び事業税	226	51
法人税等調整額	△5	14
四半期純利益	**470**	**126**
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	**469**	**116**

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前第2四半期累計期間 2018年4月1日～2018年9月30日	当第2四半期累計期間 2019年4月1日～2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	304	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481	△577
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206	△224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	9
現金及び現金同等物の増減額	△406	△744
現金及び現金同等物の期首残高	2,527	2,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,120	1,878

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概況／株式データ (2019年9月30日現在)

会社の概要

商　　号	黒田精工株式会社
本　　店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創　　業	1925年（大正14年）
資 本 金	18億9千2百万円
従業員数	431名

連結対象会社の状況

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社 クロダプレシジョンインダストリーズ(M)（マレーシア） 平湖黒田精工有限公司（中国） 永昇電子株式会社 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.（英国） Jenaer Gewindetechnik GmbH（ドイツ） KURODA JENA TEC INC.（米国） 株式会社ゲージング	日本金型産業株式会社

当社グループの主要な事業

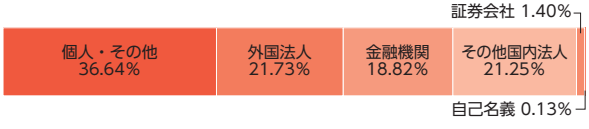
セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ

株式の状況

発行可能株式総数	14,960,000株
発行済株式の総数	5,648,704株
株主数	2,938名

所有者別株式分布状況

合　計　5,648,704株



大株主

株主名	株式数（千株）	持株比率（%）
パーカー ハネフィン マニュファクチュアリング ユーケー リミテッド	942	16.71
株式会社みずほ銀行	276	4.90
黒田　浩史	247	4.40
ファナック株式会社	196	3.49
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	196	3.49
株式会社日本政策投資銀行	171	3.04
ユーログループエスピーエー	168	2.99
株式会社横浜銀行	149	2.65
黒田精工取引先持株会	135	2.40
三井住友信託銀行株式会社	123	2.18

＊持株比率は自己株式（7,458株）を控除して計算しております。

株主メモ

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 http://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120-782-031（フリーダイヤル）

株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL. 0120-782-031（フリーダイヤル）
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に記録された株式
特別口座に記録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません（単元未満株式を除く）。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。
株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先　0120-782-031（フリーダイヤル）

[手続き書類のご請求方法]
・インターネットによるダウンロード　https://www.smtb.jp/personal/agency/

黒田精工株式会社

本社／〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL／044-555-3800（代表）　FAX／044-555-3524
http://www.kuroda-precision.co.jp/

UD FONT
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK